

第1章 調査趣旨

1-1 本調査の背景・目的

交通事故死者数は近年減少し続け、現行の交通事故統計となった1948年以降で最も少なくなったところであるが、2019年中の交通事故死者数は3,215人で、特に、交通事故死者数の全体に占める高齢者の割合は55.4%と大きい。

そこで、高齢者の交通事故死者数の削減を目指し、自動車に搭載されている安全対策技術の認識や更なる要望及び自動車以外の移動手段の利用に係る意識調査並びに諸外国の高齢者の交通安全対策等を調査することとする。

1-2 有識者との意見交換

本調査を進めるにあたり、有識者との意見交換を行った。有識者及び事務局の名簿は図表1-1、意見交換開催概要は図表1-2のとおり。

図表 1-1 有識者及び事務局の名簿

種別	氏名	所属
有識者	岡村 和子	科学警察研究所交通科学部交通科学第二研究室長
	森本 章倫	早稲田大学理工学術院社会環境工学科教授
	吉田 長裕	大阪市立大学工学研究科都市系専攻准教授
内閣府	米谷 祐輝	政策統括官(政策調整担当)付参事官(交通安全対策担当)付交通安全企画調査専門職
株式会社 富士通総研	坂野 成俊	株式会社富士通総研コンサルティング本部 行政経営グループ マネジングコンサルタント
	島 久美子	株式会社富士通総研コンサルティング本部 行政経営グループ シニアコンサルタント
	鍋島 直宏	株式会社富士通総研コンサルティング本部 行政経営グループ コンサルタント

図表 1-2 意見交換開催概要

回数	開催日時	議題
第1回	2020年11月30日(月) 10:00~11:00	┆ 本調査の進め方 ┆ 日本国内の高齢者における交通安全に関する意識調査 ┆ 諸外国における高齢者に対する先端技術、自動車代替手段等の普及及び交通安全に係る施策への反映等についての具体的調査及びヒアリング対象国の選定
第2回	2020年12月24日(木) 10:00~11:00	┆ 事例収集状況等を踏まえたヒアリング対象候補国の選定及びヒアリング骨子案
第3回	2021年2月17日(水) 10:30~11:30	┆ 日本国内の高齢者における交通安全に関する意識調査の結果について
第4回	2021年3月24日(水) 10:00~11:00	┆ 日本国内の高齢者における交通安全に関する意識調査の追加分析について ┆ 海外ヒアリングの結果について ┆ 各調査から得られた示唆について